

心理学選修（社会心理学分野）教員公募要項案

山口大学教育学部

この度、山口大学、山口県立大学及び山口学芸大学が参画する『令和 4 年度大学教育再生戦略推進費地域活性化人材育成支援事業～SPARC～「ひとや地域（まち・文化・教育）の well-being に貢献する文系 DX 人材の育成」』が採択されたことを受け、本学教育学部小学校教育コース心理学選修では、下記の要領に従い教員 1 名を公募いたします。

1. 採用職種 講師
2. 採用人員 1 名
3. 採用予定年月日 2023 年 4 月 1 日
4. 教育研究分野 社会心理学
5. 担当授業科目等
 - ・地域活性化人材育成事業（SPARC）で開講予定の授業科目
：データ科学と社会Ⅰ（予定）、データ科学と社会Ⅱ（予定）等
 - ・山口大学が令和 7 年 4 月設置構想中の「人間科学共創学環（学士課程）」における授業科目
：社会心理学（予定）、心理学統計法（予定）等
 - ・大学院：教育学研究科における専門分野に関連する科目
：社会心理学特論、心理統計法演習 等
 - ※ なお、令和 6 年 4 月設置構想中の「人間科学研究科（仮称）」における専門分野に関する科目を担当予定。
 - ・学部：教育学部における専門分野に関連する科目
6. 任 期 任期は 5 年（審査により、大学教育職員として十分な資質を有すると認められる場合は任期の無い雇用へ移行します。）
7. 応募資格
 - 1) 博士の学位を有する者、もしくはこれと同等以上の研究業績を有する者
 - 2) 大学院修士課程の授業を担当できる者
 - 3) 上記科目の授業を担当し得る業績を持つ者
 - 4) 公認心理師の資格を有することが望ましい
 - 5) 教員養成に理解・関心がある者
8. 応募期限 2022 年 12 月 16 日（金）必着のこと
9. 提出書類
 - 1) 履歴書（指定様式（様式 1））
 - 2) 研究・教育業績調書（指定様式（様式 2））
 - 3) 上記 2）に関する主要業績資料（全て）

研究業績については、著書・論文、学会発表資料、プログラム等の現物もしくは別刷り・コピー・その他証明できる資料を提出してください。
 - 4) 上記 3）のうち、研究業績 4 点についての要旨（書式自由、各 500 字程度）
 - 5) これまでの研究概要と着任後の研究計画（書式自由、A4 判 1 ページ以内）
 - 6) 着任後の教育活動に対する抱負（書式自由、A4 判 1 ページ以内）

上記 1）と 2）の書類は、別添の山口大学教育学部作成の様式を使用すること。また、記入例が必要な場合は、山口大学教育学部総務企画係（電子メール：ed142@yamaguchi-u.ac.jp）まで請求すること

10. 書類提出先 〒753-8513 山口市吉田 1677-1

山口大学教育学部長 鷹岡 亮 宛

応募書類は簡易書留とし、表に「小学校教育コース心理学選修 教員応募」と朱書きしてください。なお、応募書類は原則として返却いたしません。ただし、募書類の返却を希望する場合は、必要額の切手を貼付し、返送先を記載した返信用封筒（宅配便の場合は着払いの送り状）を同封願います。

11. その他

- 1) 本公募で採用された教員は、山口大学が令和 7 年 4 月設置構想中の人間科学共創学環（学士課程）並びに教育学部小学校教育コース心理学選修及び大学院教育学研究科学校臨床心理学専攻における管理・運営業務に携わっていただくことになります。
- 2) SPARC 事業に伴い新たにつくられる組織の運営・管理に係る職務を担当していただく場合があります。
- 3) 審査により、任期満了後、任期の無い雇用に移行した場合、他部局への配置となる可能性があります。ただし、その場合でも引き続き、人間科学共創学環（学士課程）の教育及び管理・運営業務並びに教育学部小学校教育コース心理学選修及び令和 6 年 4 月設置構想中の「人間科学研究科（仮称）」の教育・研究を担当していただく場合があります。
- 4) 選考にあたって、新たな資料の提出を求める場合があります。
- 5) 提出された資料に基づいて一次選考を行い、二次選考として、面接及び模擬授業を行います。面接及び模擬授業に要する旅費等は支給しません。
- 6) 採用後は、山口市及びその周辺の通勤可能な地域に居住することを求めます。
- 7) 本学の定年年齢は 65 歳です。
- 8) 給与等雇用条件は本学の規定によります。年俸制を適用します。
- 9) 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第 8 条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。
- 10) 第 6 期科学技術・イノベーション基本計画において掲げられている目標値の達成に向け、本学では若手教員を積極的に採用します。
- 11) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、吉田キャンパス内での長期休暇中の学童保育の実施や、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。

12. 照会先 〒753-8513 山口市吉田 1677-1

山口大学教育学部 SPARC 事業（心理分野）担当 木谷秀勝

TEL : 083-933-5464 電子メール : kiya@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様が生乳児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供を受けることができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索

山口大学 ダイバーシティ